

七高SSH通信

\\石川県立七尾高等学校SSH推進室//

R5/9/19
令和5年度
第8号

先端科学実験施設研修

8月18日(金)、岐阜県飛騨市にある、スーパーカミオカンデ(東京大学)・カムランド(東北大学)を見学する先端科学実験施設研修を行いました。参加者は1・2年生の普通科・理数科の希望者36名です。これらの施設は、個人では見学はできず、SSHに指定されている高校など、限られた人のみ見学ができる貴重な施設です。生徒は研究者の方に質問をするなど、積極的な姿勢で研修に臨んでいました。



高校生バイオサミット in 鶴岡

8月21日(月)~23日(水)にかけて第13回高校生バイオサミット in 鶴岡が山形県鶴岡市の鶴岡メタボロームキャンパスレクチャーホール(正式名称:鶴岡市先端研究産業支援センター)で、決勝進出者たちが一堂に会し行われました。全国から集まった生徒たちが、それぞれ素晴らしい研究を発表しました。その中で、本校36H亀くんの研究『アオリイカの表皮に存在する色素胞に対するホルモンの作用: in vitro バイオアッセイ系による解析』が、優秀賞を受賞しました。他の参加者との交流もあり、充実した3日間でした。また、決勝には進めませんでした。成果発表部門で『オオゴマダラは色覚を用いて赤系統のカランコエに訪花する』の発表をした、代表発表者の村井さんが、個人対象の審査員特別賞を受賞しました。審査員特別賞は4年連続の受賞でした。



物理チャレンジ2023

8月19日(土)~22日(火)にかけて、岡山県岡山市の岡山国際交流センターにて、物理チャレンジ2023の第2チャレンジ2023全国大会が行われました。第2チャレンジ(実技コンテスト、倫理コンテスト)は、第1チャレンジ(実験課題レポート、倫理問題コンテスト)の成績によって選抜された選手約100名が選出され、3泊4日の合宿形式でのコンテストです。本校36Hの竹口くんが参加しました。全国大会出場は2年連続です。



物理チャレンジの第二チャレンジに参加してみても学んだことは“世界の広さ”です。第二チャレンジでは実験問題と理論問題の二つがあるのですが、私は両方とも全くできませんでした。他のチャレンジャーの話を聞いていると、満点近いかもと言っていた人や、私が一問も解けなかったような大問を簡単だったと言っていた人などがいました。そこで世界の広さを強く感じました。でもそれが自分にとっていい刺激になったと思います。今回のチャレンジに参加していなかったら出会えなかった人たちと出会えて本当によかったと思います。

この経験を物理や他の教科の勉強のモチベーションとしてさらなる成長に努めたいと思います。

マスフェスタ

8月26日(土)、令和5年度「マスフェスタ」が大阪府立大手前高等学校で開催されました。マスフェスタとは、全国数学生徒研究発表会です。発表会では『USJを効率よく回る方法』、『ディズニーランドの最小経路をより簡単に求める組み合わせ最適化問題』、『足し算足してみた』などの興味深い発表がポスターセッションで行われました。

本校からは26Hの川田優希くんと河原佑樹くんと瀬戸雄輝くんが、『ごいた名人への道』の研究を発表し、数学好きが集まったこの大会を楽しんできました。なお、3人が発表した研究については11月の校内課題研究発表会でも発表する予定です。

